

教 育 課 程 等 の 概 要															
（看護学研究科看護学専攻 修士課程）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	大学院教育導入論	1前			1	○			3	1					オムニバス メディア
	高等教育のための科学的リテラシー	1・2後		2		○			1					兼1	オムニバス ※演習 メディア
	高等教育のための情報リテラシー	1・2前		2		○				1				兼2	オムニバス ※演習 メディア
	生涯人間発達科学	1後		1		○			1					兼1	オムニバス メディア
	看護英語論文クリティーク	1前		1			○			1					メディア
	小計（5科目）	—	0	6	1	—	—	—	4	3	0	0	0	兼4	
専門支持科目	看護理論と関連科学	1前		2		○			1					兼1	オムニバス メディア
	看護倫理とコンサルテーション論	1後		2		○			1		1	1		兼1	オムニバス・共同 （一部） メディア
	医療の質改善と情報科学	1後		2		○				1				兼4	オムニバス メディア
	看護政策論	1後		2		○				1				兼3	オムニバス方式・ 共同（一部） メディア
	実践看護管理論	1前		2		○			1	1					オムニバス メディア
	実践現場での教育と指導	1前	2			○			3					兼1	オムニバス・共同 （一部） メディア
	エビデンスに基づく実践のための研究	1前	2			○			1						メディア
	文献検討	1後		2			○		2	1					オムニバス・共同 （一部） メディア ※講義
	看護研究方法論	1後		2		○								兼3	オムニバス メディア
	フィジカルアセスメント	1前		2			○		1	1		1		兼5	オムニバス・共同 （一部） ※講義
	病態生理学	1前		2		○			1	1		1		兼1	オムニバス・共同 （一部） ※演習
	臨床薬理学	1後		2		○			1	1		1		兼3	オムニバス・共同 （一部） ※演習
小計（12科目）	—	4	20	0	—	—	—	6	3	1	1	0	兼22		

基礎看護分野	看護管理教育領域	看護管理教育学特論	1前	2	○	1	3				兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		看護管理教育学演習	1後	2	○	1	3					共同 メディア	
		看護管理教育学特別研究	1～2通	4	○	1	3					メディア	
		看護管理教育学実践課題研究	1～2通	4	○	1	3					メディア	
広域看護分野	精神・地域在宅看護学領域	精神・地域在宅看護学特論	1前	2	○	3	1	1				オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神看護学演習	1後	2	○	1	1	1				オムニバス・共同 (一部) メディア	
		地域在宅看護学演習	1後	2	○	2		2				オムニバス・共同 メディア	
		精神専門看護学特論Ⅰ	1前	2	○	1	1	1			兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅱ	1前	2	○	1	1	1			兼2	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅲ	1前	2	○	1	1	1			兼3	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅳ	1前	2	○	1	1	1			兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅴ	1後	2	○	1	1	1			兼2	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅵ	1後	2	○	1	1	1			兼2	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学演習Ⅰ	1前	2	○	1	1	1				共同 メディア	
		精神専門看護学演習Ⅱ	1後	2	○	1	1	1			兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神・地域在宅看護学特別研究	1～2通	4	○	3	1					メディア	
		精神・地域在宅看護学実践課題研究	1～2通	4	○	3	1					メディア	
		精神専門看護プロジェクト	2通	2	○	1	1	1				メディア	
専門科目	生涯発達看護分野	母子看護学領域	母子看護学特論	1前	2	○	4	1	3			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			母性看護学演習	1後	2	○	2	1				オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児看護学演習	1後	2	○	2		2			共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅰ	1前	2	○	2		2			オムニバス・共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅱ	1後	2	○	2		3			オムニバス・共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅲ	1後	2	○	2		2			兼5 オムニバス・共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅳ	1後	2	○	2		2			兼5 オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学特論Ⅴ	2前	2	○	2		2			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学演習Ⅰ	1前	2	○	2		2			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学演習Ⅱ	1後	1	○	2		2			兼5 オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学演習Ⅲ	2前	1	○	2		2			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			母子看護学特別研究	1～2通	4	○	4	1					メディア
			母子看護学実践課題研究	1～2通	4	○	4	1	1				メディア
			小児専門看護プロジェクト	2通	2	○	2		2				メディア
	成人高齢者看護学領域	成人高齢者看護学特論	1前	2	○	2	1	1				共同 メディア	
		成人高齢者看護学演習	1後	2	○	2	1	1				共同 メディア	
		成人高齢者看護学特別研究	1～2通	4	○	2	1					メディア	
成人高齢者看護学実践課題研究		1～2通	4	○	2	1					メディア		
小計 (37科目)			—	0	86	0	—	10	6	7	0	0	兼19

実習科目	高度実践実習（リーダーシップ）	2前		2			○	2	5	2				共同						
	高度実践実習（教育）	2前		2			○	5	2	2				共同						
	精神専門看護学実習Ⅰ	1後		2			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅱ	1後		2			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅲ	2前		4			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅳ	2前		2			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅴ	2前		2			○	1	1	1				共同						
	小児専門看護学実習Ⅰ	1後		2			○	2		2				共同						
	小児専門看護学実習Ⅱ	2前		4			○	2		2				共同						
	小児専門看護学実習Ⅲ	2前		4			○	2		2				共同						
小計（10科目）		—		26				7	5	4	0	0	0							
合計（64科目）		—	4	138	1	—		10	6	7	1	0	兼42							
学位又は称号		修士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)												
卒業要件及び履修方法							授業期間等													
<p>専門科目の領域の中から1領域を選択し、次の単位を修得しなければならない。</p> <p>〔必修〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門支持科目 4単位 <p>〔選択〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目 2単位以上 ・専門支持科目 10単位以上 ・専門科目 ①選択領域の特論^{*1}および演習^{*2} 計4単位 ②他領域の特論^{*1} 2単位以上 <p>^{*1}精神・地域在宅看護学領域の特論は「精神・地域在宅看護学特論」、母子看護学領域の特論は「母子看護学特論」のことをいう。</p> <p>^{*2}精神・地域在宅看護学領域の演習は「精神看護学演習」および「地域在宅看護学演習」、母子看護学領域の演習は「母性看護学演習」および「小児看護学演習」のことをいう。</p> ③選択領域の特別研究または課題研究 4単位 <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目 「高度実践実習（リーダーシップ）」および「高度実践実習（教育）」 計4単位 <p>以上の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>精神看護専門看護師をめざす者は、精神・地域在宅看護学領域を、小児看護専門看護師をめざす者は、母子看護学領域をそれぞれ選択し、次の単位を修得しなければならない。</p> <p>【精神看護学・小児看護学共通】</p> <p>〔必修〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門支持科目 4単位 <p>〔選択〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目 2単位以上 ・専門支持科目 「フィジカルアセスメント」「病態生理学」「臨床薬理学」 計6単位、 「看護理論と関連科学」「看護倫理とコンサルテーション論」「看護政策論」「実践看護管理論」のうち3科目6単位を含む計12単位以上 ・専門科目 選択領域の専門看護プロジェクト 2単位 <p>a. 精神看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 精神専門看護学特論Ⅰ～ⅣおよびⅤまたはⅥ 計10単位以上 精神専門看護学演習Ⅰ・Ⅱ 計4単位 <p>・実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神専門看護実習Ⅰ～ⅢおよびⅣまたはⅤ 計10単位以上 <p>b. 小児看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 小児専門看護学特論Ⅰ～Ⅴ 計10単位 小児看護学演習Ⅰ～Ⅲ 計4単位 <p>・実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門看護学実習Ⅰ～Ⅲ 計10単位 <p>【特定の課題についての研究成果】</p> <p>上記の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本研究科の行う特定の課題についての研究成果の審査および最終試験に合格しなければならない。</p>							1学年の学期区分							2期						
精神看護専門看護師をめざす者は、精神・地域在宅看護学領域を、小児看護専門看護師をめざす者は、母子看護学領域をそれぞれ選択し、次の単位を修得しなければならない。							1学期の授業期間							15週						
<p>a. 精神看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 精神専門看護学特論Ⅰ～ⅣおよびⅤまたはⅥ 計10単位以上 精神専門看護学演習Ⅰ・Ⅱ 計4単位 <p>・実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神専門看護実習Ⅰ～ⅢおよびⅣまたはⅤ 計10単位以上 <p>b. 小児看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 小児専門看護学特論Ⅰ～Ⅴ 計10単位 小児看護学演習Ⅰ～Ⅲ 計4単位 <p>・実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門看護学実習Ⅰ～Ⅲ 計10単位 <p>【特定の課題についての研究成果】</p> <p>上記の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本研究科の行う特定の課題についての研究成果の審査および最終試験に合格しなければならない。</p>							1時限の授業時間							90分						

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護学研究科看護学専攻 修士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	大学院教育導入論	1前			1	○			3	1						オムニバス メディア
	高等教育のための科学的リテラシー	1・2後		2		○			1						兼1	オムニバス ※演習 メディア
	高等教育のための情報リテラシー	1・2前		2		○				1					兼2	オムニバス ※演習 メディア
	生涯人間発達科学	1後		1		○			1						兼1	オムニバス メディア
	看護英語論文クリティーク	1前		1			○			1						メディア
	小計（5科目）	—	—	0	6	1	—	—	4	3	0	0	0	0	兼4	
専門支持科目	看護理論と関連科学	1前		2		○			1						兼1	オムニバス メディア
	看護倫理とコンサルテーション論	1後		2		○			1		1	1			兼1	オムニバス・共同 （一部） メディア
	医療の質改善と情報科学	1後		2		○				1					兼4	オムニバス メディア
	看護政策論	1後		2		○				1					兼3	オムニバス方式・ 共同（一部） メディア
	実践看護管理論	1前		2		○			1	1						オムニバス メディア
	実践現場での教育と指導	1前	2			○			3						兼1	オムニバス・共同 （一部） メディア
	エビデンスに基づく実践のための研究	1前	2			○			1							メディア
	文献検討	1後		2			○		2	1						オムニバス・共同 （一部） メディア ※講義
	看護研究方法論	1後		2		○									兼3	オムニバス メディア
	小計（12科目）	—	—	4	14	0	—	—	6	2	1	1	1	0	兼13	

基礎看護分野	看護管理教育領域	看護管理教育学特論	1前	2	○	1	3				兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		看護管理教育学演習	1後	2	○	1	3					共同 メディア	
		看護管理教育学特別研究	1～2通	4	○	1	3					メディア	
		看護管理教育学実践課題研究	1～2通	4	○	1	3					メディア	
広域看護分野	精神・地域在宅看護学領域	精神・地域在宅看護学特論	1前	2	○	3	1	1				オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神看護学演習	1後	2	○	1	1	1				オムニバス・共同 (一部) メディア	
		地域在宅看護学演習	1後	2	○	2		2				オムニバス・共同 メディア	
		精神専門看護学特論Ⅰ	1前	2	○	1	1	1			兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅱ	1前	2	○	1	1	1			兼2	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅲ	1前	2	○	1	1	1			兼3	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅳ	1前	2	○	1	1	1			兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅴ	1後	2	○	1	1	1			兼2	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学特論Ⅵ	1後	2	○	1	1	1			兼2	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神専門看護学演習Ⅰ	1前	2	○	1	1	1				共同 メディア	
		精神専門看護学演習Ⅱ	1後	2	○	1	1	1			兼1	オムニバス・共同 (一部) メディア	
		精神・地域在宅看護学特別研究	1～2通	4	○	3	1					メディア	
		精神・地域在宅看護学実践課題研究	1～2通	4	○	3	1					メディア	
		精神専門看護プロジェクト	2通	2	○	1	1	1				メディア	
専門科目	生涯発達看護分野	母子看護学領域	母子看護学特論	1前	2	○	4	1	3			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			母性看護学演習	1後	2	○	2	1				オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児看護学演習	1後	2	○	2		2			共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅰ	1前	2	○	2		2			オムニバス・共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅱ	1後	2	○	2		3			オムニバス・共同 メディア	
			小児専門看護学特論Ⅲ	1後	2	○	2		2			兼5 オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学特論Ⅳ	1後	2	○	2		2			兼5 オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学特論Ⅴ	2前	2	○	2		2			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学演習Ⅰ	1前	2	○	2		2			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学演習Ⅱ	1後	1	○	2		2			兼5 オムニバス・共同 (一部) メディア	
			小児専門看護学演習Ⅲ	2前	1	○	2		2			オムニバス・共同 (一部) メディア	
			母子看護学特別研究	1～2通	4	○	4	1					メディア
			母子看護学実践課題研究	1～2通	4	○	4	1	1				メディア
			小児専門看護プロジェクト	2通	2	○	2		2				メディア
	成人高齢者看護学領域	成人高齢者看護学特論	1前	2	○	2	1	1				共同 メディア	
		成人高齢者看護学演習	1後	2	○	2	1	1				共同 メディア	
		成人高齢者看護学特別研究	1～2通	4	○	2	1					メディア	
		成人高齢者看護学実践課題研究	1～2通	4	○	2	1					メディア	
小計 (37科目)			—	0	86	0	—	10	6	7	0	0	兼19

実習科目	高度実践実習（リーダーシップ）	2前		2			○	2	5	2				共同						
	高度実践実習（教育）	2前		2			○	5	2	2				共同						
	精神専門看護学実習Ⅰ	1後		2			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅱ	1後		2			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅲ	2前		4			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅳ	2前		2			○	1	1	1				共同						
	精神専門看護学実習Ⅴ	2前		2			○	1	1	1				共同						
	小児専門看護学実習Ⅰ	1後		2			○	2		2				共同						
	小児専門看護学実習Ⅱ	2前		4			○	2		2				共同						
	小児専門看護学実習Ⅲ	2前		4			○	2		2				共同						
小計（10科目）		—		26				7	5	4	0	0	0							
合計（64科目）		—	4	132	1	—		10	6	7	1	0	兼33							
学位又は称号		修士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)												
卒業要件及び履修方法							授業期間等													
<p>専門科目の領域の中から1領域を選択し、次の単位を修得しなければならない。</p> <p>〔必修〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門支持科目 4単位 <p>〔選択〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目 2単位以上 ・専門支持科目 10単位以上 ・専門科目 ①選択領域の特論^{*1}および演習^{*2} 計4単位 ②他領域の特論^{*1} 2単位以上 <p>^{*1}精神・地域在宅看護学領域の特論は「精神・地域在宅看護学特論」、母子看護学領域の特論は「母子看護学特論」のことをいう。</p> <p>^{*2}精神・地域在宅看護学領域の演習は「精神看護学演習」および「地域在宅看護学演習」、母子看護学領域の演習は「母性看護学演習」および「小児看護学演習」のことをいう。</p> ③選択領域の特別研究または課題研究 4単位 <p>・実習科目 「高度実践実習（リーダーシップ）」および「高度実践実習（教育）」 計4単位 以上の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>精神看護専門看護師をめざす者は、精神・地域在宅看護学領域を、小児看護専門看護師をめざす者は、母子看護学領域をそれぞれ選択し、次の単位を修得しなければならない。</p> <p>【精神看護学・小児看護学共通】</p> <p>〔必修〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門支持科目 4単位 <p>〔選択〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目 2単位以上 ・専門支持科目 「フィジカルアセスメント」「病態生理学」「臨床薬理学」 計6単位、 「看護理論と関連科学」「看護倫理とコンサルテーション論」「看護政策論」「実践看護管理論」のうち3科目6単位を含む計12単位以上 ・専門科目 選択領域の専門看護プロジェクト 2単位 <p>a. 精神看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 精神専門看護学特論Ⅰ～ⅣおよびⅤまたはⅥ 計10単位以上 精神専門看護学演習Ⅰ・Ⅱ 計4単位 <p>・実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神専門看護学実習Ⅰ～ⅢおよびⅣまたはⅤ 計10単位以上 <p>b. 小児看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 小児専門看護学特論Ⅰ～Ⅴ 計10単位 小児看護学演習Ⅰ～Ⅲ 計4単位 <p>・実習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門看護学実習Ⅰ～Ⅲ 計10単位 <p>【特定の課題についての研究成果】</p> <p>上記の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本研究科の行う特定の課題についての研究成果の審査および最終試験に合格しなければならない。</p>							1学年の学期区分							2期						
							1学期の授業期間							15週						
							1時限の授業時間							90分						

教 育 課 程 等 の 概 要

(看護学研究科看護学専攻 修士課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門支持科目	フィジカルアセスメント	1前		2				○		1	1		1		兼5	オムニバス・共同(一部)※講義
	病態生理学	1前		2			○			1	1		1		兼1	オムニバス・共同(一部)※演習
	臨床薬理学	1後		2			○			1	1		1		兼3	オムニバス・共同(一部)※演習
	小計(3科目)	—	0	6	0			—		1	1	0	1	0	兼9	
合計(3科目)		—	0	6	0			—		1	1	0	1	0	兼9	
学位又は称号		修士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
<p>専門科目の領域の中から1領域を選択し、次の単位を修得しなければならない。</p> <p>〔必修〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門支持科目 4単位 <p>〔選択〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目 2単位以上 ・専門支持科目 10単位以上 ・専門科目 ①選択領域の特論^{*1}および演習^{*2} 計4単位 ②他領域の特論^{*1} 2単位以上 <p>^{*1}精神・地域在宅看護学領域の特論は「精神・地域在宅看護学特論」、母子看護学領域の特論は「母子看護学特論」のことをいう。</p> <p>^{*2}精神・地域在宅看護学領域の演習は「精神看護学演習」および「地域在宅看護学演習」、母子看護学領域の演習は「母子看護学演習」および「小児看護学演習」のことをいう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ③選択領域の特別研究または課題研究 4単位 ・実習科目 「高度実践実習(リーダーシップ)」および「高度実践実習(教育)」 計4単位 <p>以上の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>精神看護専門看護師をめざす者は、精神・地域在宅看護学領域を、小児看護専門看護師をめざす者は、母子看護学領域をそれぞれ選択し、次の単位を修得しなければならない。</p> <p>【精神看護学・小児看護学共通】</p> <p>〔必修〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門支持科目 4単位 <p>〔選択〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目 2単位以上 ・専門支持科目 「フィジカルアセスメント」「病態生理学」「臨床薬理学」 計6単位、 「看護理論と関連科学」「看護倫理とコンサルテーション論」「看護政策論」「実践看護管理論」のうち3科目6単位を含む計12単位以上 ・専門科目 選択領域の専門看護プロジェクト 2単位 <p>a. 精神看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 精神専門看護学特論Ⅰ～ⅣおよびⅤまたはⅥ 計10単位以上 精神専門看護学演習Ⅰ・Ⅱ 計4単位 ・実習科目 精神専門看護実習Ⅰ～ⅢおよびⅣまたはⅤ 計10単位以上 <p>b. 小児看護専門看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門科目 小児専門看護学特論Ⅰ～Ⅴ 計10単位 小児看護学演習Ⅰ～Ⅲ 計4単位 ・実習科目 小児専門看護学実習Ⅰ～Ⅲ 計10単位 <p>【特定の課題についての研究成果】</p> <p>上記の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本研究科の行う特定の課題についての研究成果の審査および最終試験に合格しなければならない。</p>								1 学年の学期区分	2期							
								1 学期の授業期間	15週							
								1 時限の授業時間	90分							